

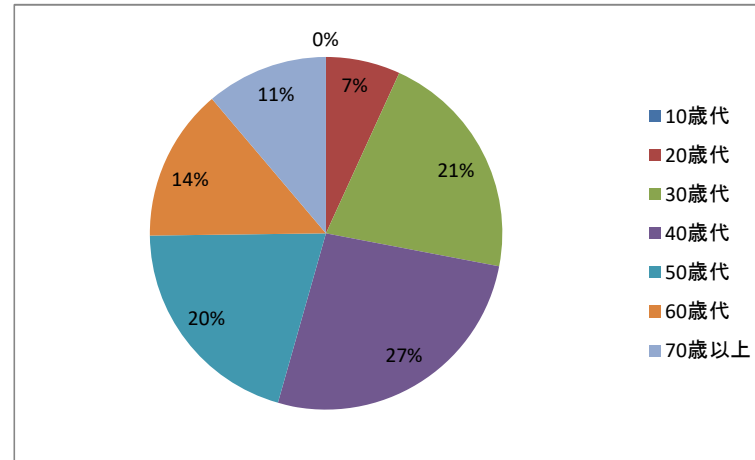
第9回 金沢市豪雨時の安全避難ガイド～水害ハザードマップ～についてのアンケート

【アンケート実施期間】 令和2年11月20日～令和2年12月4日

【アンケートの目的】 金沢市内水整備課では令和2年5月末までに対象地区の全戸へ配布した水害ハザードマップについて、町会や各種団体等に対して説明会を開催し、水害ハザードマップの正しい理解や安全な避難につながるよう周知に努めております。いただいたご意見は、今後の水害ハザードマップの更なる周知について、参考とさせていただきます。

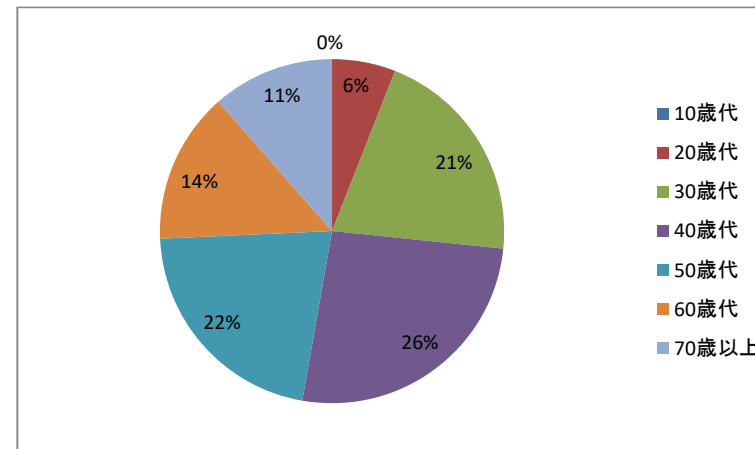
【対象者数】 250名

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	17	6.8
30歳代	53	21.2
40歳代	66	26.4
50歳代	51	20.4
60歳代	35	14.0
70歳以上	28	11.2
計	250	100.0



【回答者数】 218名

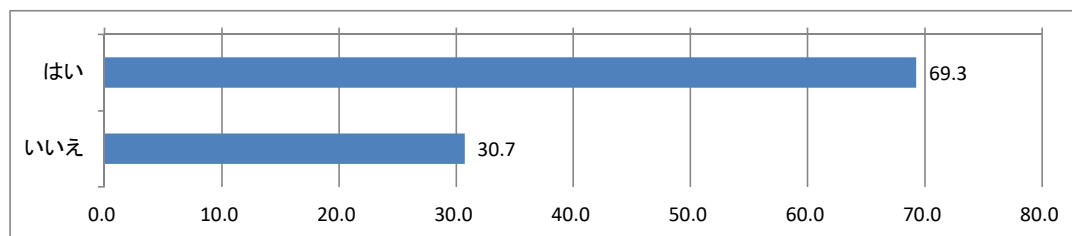
内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	13	6.0
30歳代	45	20.6
40歳代	57	26.1
50歳代	47	21.6
60歳代	31	14.2
70歳以上	25	11.5
計	218	100.0



【回答率】 87.2%

問1 ご自宅に金沢市水害ハザードマップは届きましたか。

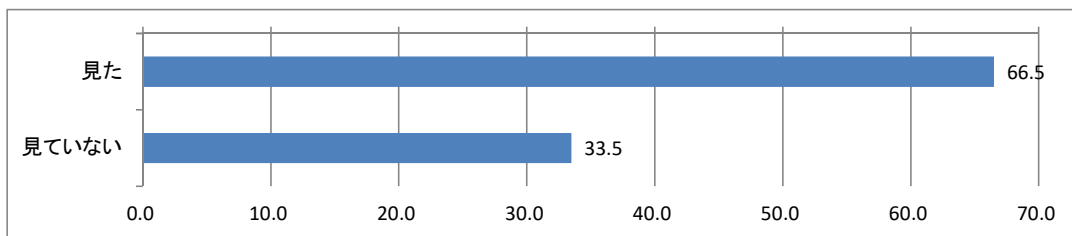
回答	人数	%
はい	151	69.3
いいえ	67	30.7



内水整備課では、浸水するおそれのある58校下（地区）（新竪町・菊川・味噌蔵・長町・松ヶ枝・長土堀・芳斎・此花・瓢箪・長田町・戸板・西・小立野・崎浦・犀川・野町・弥生・中村町・十一屋・泉野・長坂台・米丸・新神田・押野・西南部・三和・三馬・米泉・富樫・伏見台・額・四十万・扇台・二塚・安原・材木・馬場浅野町・森山・小坂・千坂・夕日寺・川北・大浦・田上・東浅川・森本・花園・湖南・薬師台・三谷・諸江・浅野川・鞍月・栗崎・大徳・金石町・大野町）に金沢市水害ハザードマップを配布しました。もし、ご自宅に届いていないという方がおいでしたら内水整備課（TEL 076-220-2341、e-mail naisui@city.kanazawa.lg.jp）までご連絡ください。お送りします。

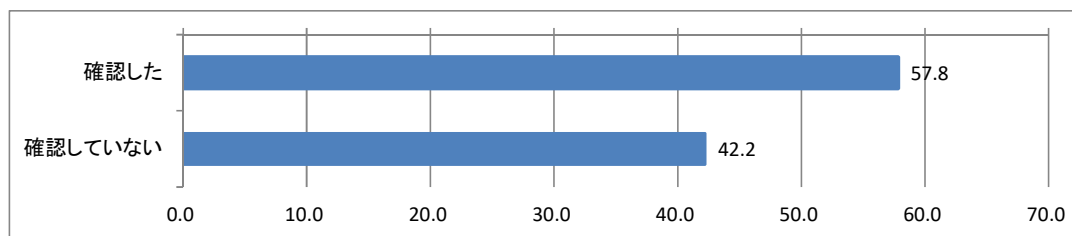
問2 配布された金沢市水害ハザードマップをご覧になりましたか。

回答	人数	%
見た	145	66.5
見ていない	73	33.5



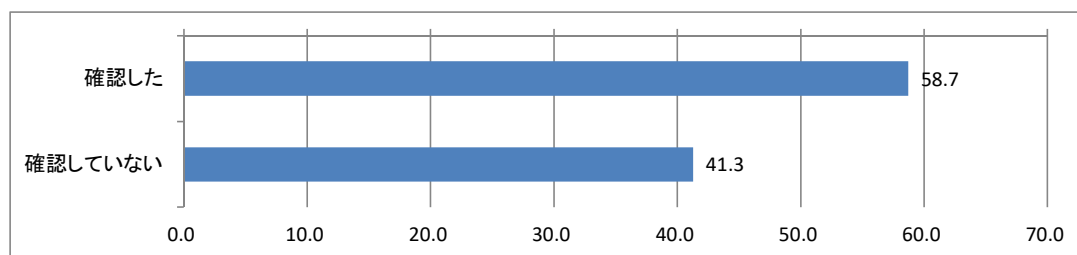
問3 自宅の浸水深さを確認しましたか。

回答	人数	%
確認した	126	57.8
確認していない	92	42.2



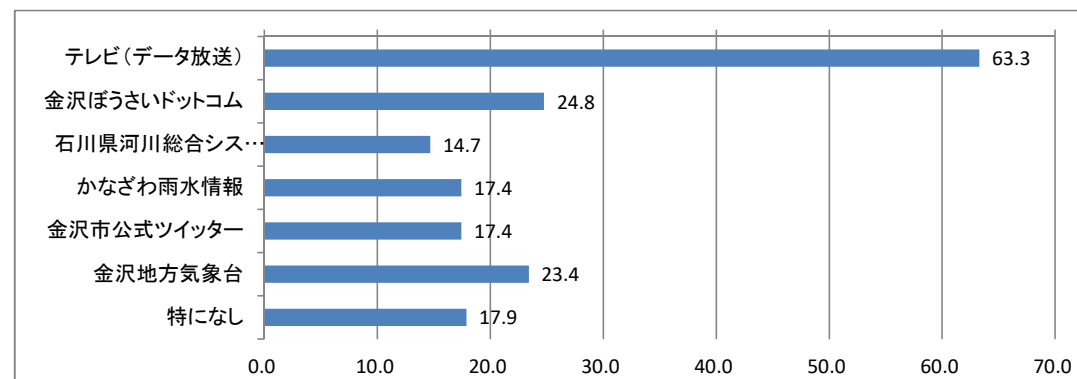
問4 避難場所や避難経路の確認をしましたか。

回答	人数	%
確認した	128	58.7
確認していない	90	41.3



問5 避難情報の入手方法として、活用したい、または、既に活用しているものは次のうちどれですか。（複数回答可）

回答	人数	%
テレビ（データ放送）	138	63.3
金沢ぼうさいドットコム	54	24.8
石川県河川総合システム	32	14.7
かなざわ雨水情報	38	17.4
金沢市公式ツイッター	38	17.4
金沢地方気象台	51	23.4
特になし	39	17.9

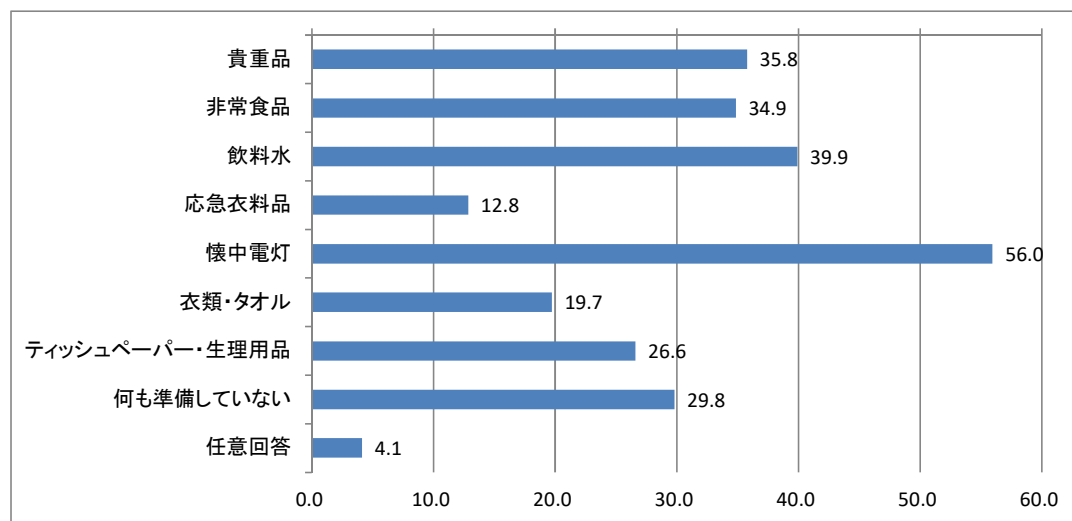


同報防災無線の放送がよく聞こえない場合や聞き逃したときは、放送内容を電話（緊急情報電話案内サービス 0180-997171）で確認できます。

問6 各家庭において、非常時の持ち出し品として何を準備していますか。（複数回答可）

回答	人数	%
貴重品	78	35.8
非常食品	76	34.9
飲料水	87	39.9
応急衣料品	28	12.8
懐中電灯	122	56.0
衣類・タオル	43	19.7
ティッシュペーパー・生理用品	58	26.6
何も準備していない	65	29.8
任意回答	9	4.1

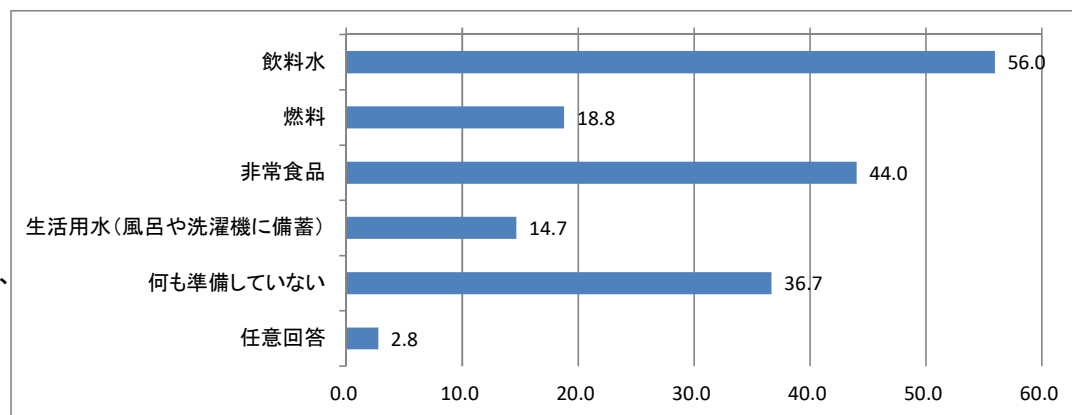
任意回答例：カセットコンロ、洗面道具、靴、スリッパ、簡易トイレ、手袋、リュックに医療品等々、お尻拭き、運動靴、飼い犬の食事
簡単な医薬部外品、軍手、防水シート、ラジオ、キャンプ用品



問7 各家庭において、非常時の備蓄品として何を準備していますか。（複数回答可）

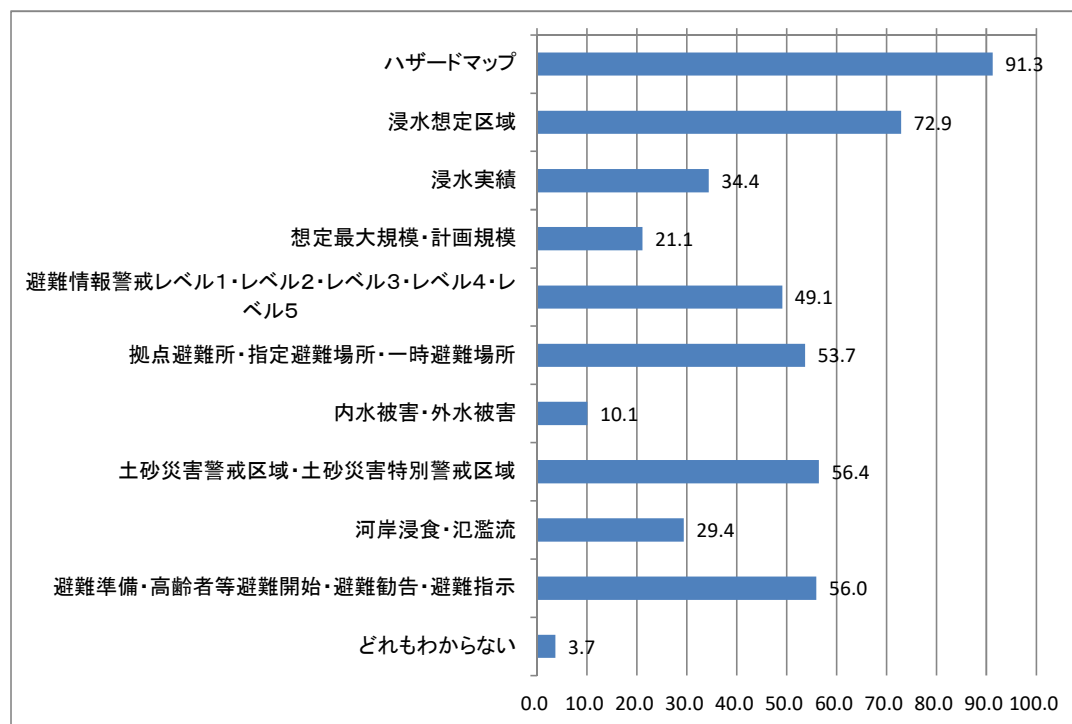
回答	人数	%
飲料水	122	56.0
燃料	41	18.8
非常食品	96	44.0
生活用水（風呂や洗濯機に備蓄）	32	14.7
何も準備していない	80	36.7
任意回答	6	2.8

任意回答例：トイレットペーパー、簡易トイレ、アルミシート、ラジオ、スマホ充電機、手動充電器、レトルト食品、乾燥食品



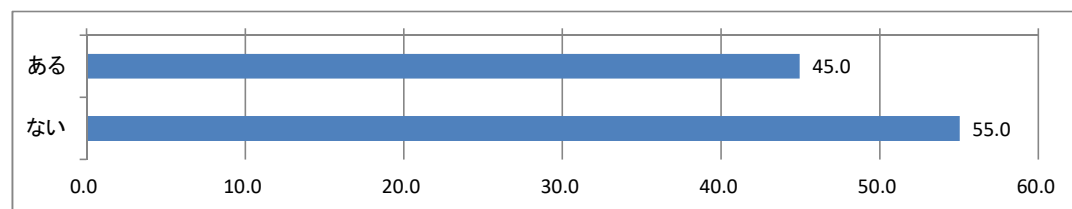
問8 次の用語のうち、意味がわかるものを選択してください。（複数回答可）

回答	人数	%
ハザードマップ	199	91.3
浸水想定区域	159	72.9
浸水実績	75	34.4
想定最大規模・計画規模	46	21.1
避難情報警戒レベル1・レベル2・レベル3・レベル4・レベル5	107	49.1
拠点避難所・指定避難場所・一時避難場所	117	53.7
内水被害・外水被害	22	10.1
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域	123	56.4
河岸浸食・氾濫流	64	29.4
避難準備・高齢者等避難開始・避難勧告・避難指示	122	56.0
どれもわからない	8	3.7



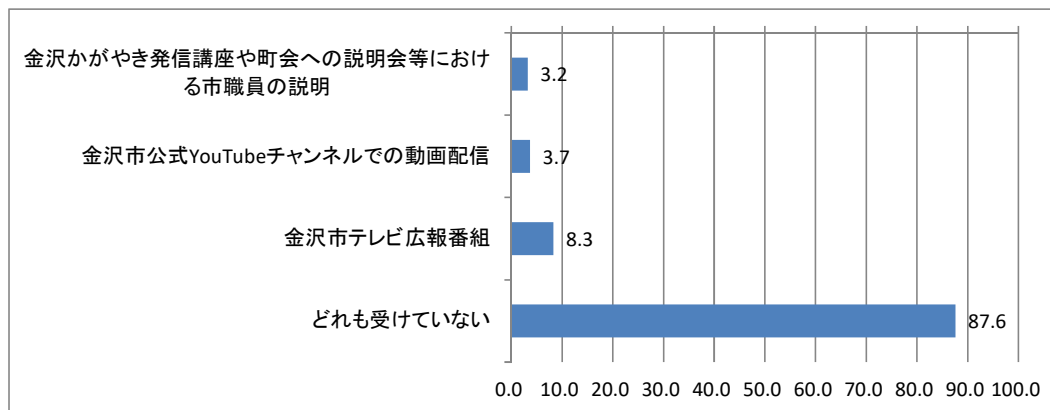
問9 水害発生時における避難方法について、ご家族等で話しあいをしたことがありますか。

回答	人数	%
ある	98	45.0
ない	120	55.0



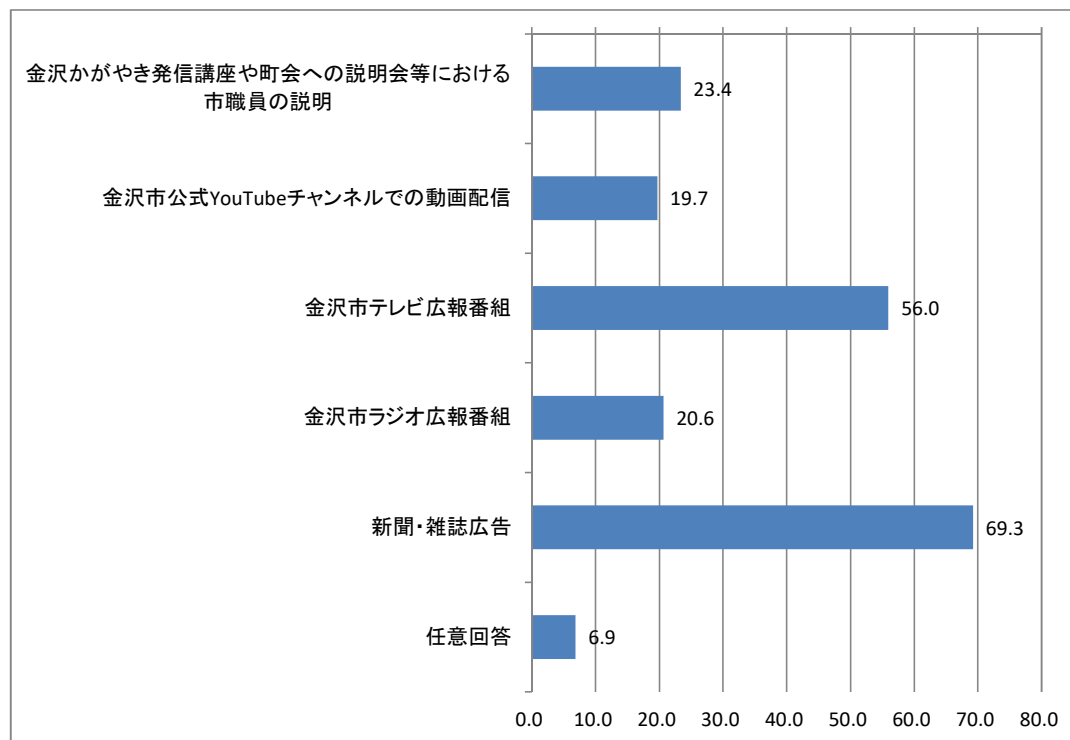
問10 金沢市では、現在、水害ハザードマップの周知に努めております。次のうち受けたことのあるものを選択してください。（複数回答可）

回答	人数	%
金沢かがやき発信講座や町会への説明会等における市職員の説明	7	3.2
金沢市公式YouTubeチャンネルでの動画配信	8	3.7
金沢市テレビ広報番組	18	8.3
どれも受けていない	191	87.6



問11 より多くの市民の方に、水害ハザードマップを知っていただくには何が効果的と考えますか。（複数回答可）

回答	人数	%
金沢かがやき発信講座や町会への説明会等における市職員の説明	51	23.4
金沢市公式YouTubeチャンネルでの動画配信	43	19.7
金沢市テレビ広報番組	122	56.0
金沢市ラジオ広報番組	45	20.6
新聞・雑誌広告	151	69.3
任意回答	15	6.9



任意回答例：郵便局による全戸配布をしないと入手できないと思う

危機感がないと考えない

普通のニュース番組で取り上げられる

金沢市の災害取り組み自体に対する広報（回覧板等）

防災の日に地区学校で県市からの説明

ぼうSAI、インスタ投稿、各世帯への戸別配布

地区の集まり等チラシ配布、

普段のテレビの報道やツイッターなどのSNSの利用

若い人による距離の近い説明

水害防災実践の日を作る

LineなどのSNS

夕方のニュースで特集する

問12 ハザードマップを見て、わかりにくい点があれば書いてください。
※当該問は改善をお約束するものではありませんのでご了承ください。

・自宅の場所が分かりづらかった。
・ハザードマップをそもそも見ていない。各軒に届けられているのでしょうか？
・わかりにくい点はないと思う
・特に問題ないと思います。
・どのような方法でハザードマップを配布したのかわからないが、見ていない。今まで全戸配布と言われているものでも、集合住宅のせいが届かない。今回の質問である、「わかりにくい点」以前に届いていない。
・水害ハザードマップの2～3ページ、及び4～5ページのいずれも色分けがはっきりしない。特に前者はほとんど理解できない。もっと工夫すべき。
・じっくり見た事がない。
・細かいので見にくい
・見ていません
・色の濃淡ではなく別の色を使ったほうが分かりやすいと思います。 ・想定浸水高さの水害の時、緊急避難できる建物の場所にチェックがあると良いと思います(県庁、商業ビル、会社ビルなどで掲載了解がとれれば)。
・避難する基準がよくわかりません。
・避難所の文字を大きく濃く目立つ様分かりやすくしてほしい
・難しいと思うが、校下単位のほかに、町単位のもので説明するとより説得力があると思う。例えば、山王1丁目は、金腐川の氾濫と言ってもピンと来ないが、崖崩れが発生することを強調すればより意識が高まる。
・想定される浸水についてカラーで表示されていますが浸水レベルの色を明確化して方が良い
・見ていないので 特にありません
・自分の住んでいるところ
・具体的に言ってどの程度の被害になりそうなのかわかりにくい
・色の区別が分かりにくい
・地図がわかりにくい。
・まだ見ていない。見ます！
・他地域に比べても分かりやすいので問題なかった
・避難場所が分からない。橋を渡って避難先には危なくて行けない。避難先が遠すぎる。避難場所の周辺が浸水エリアなので何処へ行けばよいのか。材木町校下・馬場校下などが問題。
・もう少し字が大きいといいと思います
・見ていないのでわかりません。
・金沢で水害を免れることが出来る地域が少ない。高台以外全て浸水の可能性が有るとなると、移転するのも困難。どうすればよいかよくわからない
・標高があるからといって、水害がないとは言い切れないし、避難場所との遠近、道路の整備状況などの問題がある。ハザードマップはそれらの要素を反映しているのだろうか？
・避難所にいくまでに被災しそうで近場でなにかいい所があると助かります

・何かごちゃごちゃしている
・浸水の程度の色分けがわかりにくい。
・致し方ないのだろうが、市全体図なので小さくて見づらい。
・実家は浅野川が近いですが、どの時点で避難しなくてはいけないか？高齢者の母に説明しても大丈夫だとしか言わないです。何かしら基準になる警告を工夫していただければ有難いです。
・自分でわかりやすい印等を付けなければいけないなと思います。
・わかりやすいと思います。
・見ていないので分かりません。
・自分に関係する地域しか見ないので、特にわかりにくさは感じなかった
・文字が全体的に小さい。ホントに避難しなくてはいけないお年寄りには見えるのか不安になった。
・100年に一度の洪水？があった場合のハザードマップというのは非現実的じゃないかなと思って見ていました。
・もう少し、年配者でも理解しやすいように解説して欲しいです。
・字が小さい。
・各地の標高表示がなく、自分で国土地理院の地図を開き、地図に標高を落とすしかない。河から溢れた水が、自分のブロックに留まるのか、どちらかに流れをつくり、床上浸水を免れる余地があるのかわからない。
・インターネットで見ました。わかりにくいところはなかったです。
・避難所の学校の方が海側
・土砂災害が想定されている区域に、避難場所が指定されているのはおかしい。納得できない。危険だと思う。
・小さくて見えにくいさらに校区毎の細かい地図が必要だと思う
・なかなか実感が湧かない。
・特になし わかりやすい
・記号がよくわからなかった。色別をもう少し多くしてもいいのでないか。
・浸水実績が何年にどのくらいの規模であったかがもう少しわかりやすくなると嬉しいです
・見やすくわかりやすく、大きく掲載してほしい。
・①記載エリアが広すぎて細かく、居住地近隣のハザード状況がわかりにくい。②避難拠点の詳細が分からない（収容人数等や避難居住エリア） どの避難所に避難すればよいか等。
・決壊しやすい場所や避難経路
・金沢市HPよりPDFで確認。マップの移動や拡大・縮小が不可能で職場や自宅付近の詳細な情報がない（GoogleやYahooなどのマップ情報をリンクするなど）。浸水範囲や危険地区などの色分けのグラデーションをもっとハッキリして欲しい。100年・1000年など想定がバラバラな地区があるため想定する範囲を統一して欲しい。ハザードマップで何を必ず確認すれば良いか、災害の際の避難方法などの市からの情報が欲しい。
・もう少し字を大きくしてほしいです。
・もっと範囲を狭くしたマップがほしい。町会単位での資料があればわかりやすい。
・配布されたか分からない。もし在庫があればもらいたい
・色の濃さが微妙。0.5?3.0なのかその上のレベルなのか色の濃さが微妙でわかりにくい
・金沢での災害には過去浅野川が氾濫した時の経験しかなく実感がわからないのでしっかりした説明会を開いてほしい。
・しっかりと見ていないため、なにがわかりにくいかわからない。
・見ていないのでわからない

・ハザードマップは届いたかどうか 忘れましたが、Webで 確認しました。
・見ていません
・実際には記載どおりになっているかが不明。
・避難経路を確保することが困難なこと
・特に分かりにくい点はありません。
・見てないです、、金沢情報も入らない地域なので届いてないかも？
・子供、年配の人にはわかりにくい感じがしました。もう少し見やすくしたほうが良いのかなと思います。
・誰が見てもわかりやすいように
・計画規模で50～100年の確立 並びに1000年以上の確立で表されているが 実感としてどこまで理解されているか疑問である
・色がわかりにくく、地形図が全体にわかりにくいと思いました。紙媒体とインターネットも確認しましたが、ぱっと見わかりにくいと思いました。
・見ていないのでわかりません。
・わかりにくい点はありませんでした
・地図が細かい
・下図に目印となる施設名等があると位置関係がわかりやすい
・地図が小さい
・じっくり読んだ方が良いという気持ちになる何か。
・2018年3月現在のものが今回のアンケートのハザードマップなのでしょうか？（それは手元にあります）内容が盛り沢山すぎる。A4サイズは大きすぎるのでA5サイズにして内容も簡潔にしてほしい。ハザードマップを切り取って貼っておけるようにする。防災手ぬぐいがあるので、津波手ぬぐいなどを作ってハザードマップを身近にする。
・わかりにくい点はありませんが、・・・。
・勤務地が近江市場のちかくなので松ヶ枝地区のものがありますが、居住地の崎浦地区のものはありません。防災無線は聞き取りにくい。
・専門用語が、多すぎる。活字が、小さい。
・例えばですが、避難先の小学校には駐車場スペースがあまりありません。車で避難した際に車をとめる場所があるかどうか、何台くらい可能なのかを載せて欲しい
・浸水被害予想の色分けが、クリーム色から茶色なのはいまひとつ見分けにくく感じます。黄色～ピンク～赤かオレンジの方が危機感も感じやすく思います。
・考えたことがなかった。何がわかりにくいか考えながら見るよう心がけます

問13 大雨・洪水警報発表時に意識的に行動していることがあれば教えてください。

・町会からの資料に目を通して、定期的に家族で話し合いをしています。
・家の周りの小物を片付ける。排水しやすいように、側溝の掃除をしておく。
・くぼんだ地域には長く滞在しない。川の近くにはいかない、通らない。
・落ち着くこと。
・避難所を確認し、近隣に声掛けをします。
・放送など流れていたら注意をしている。
・家族に連絡
・外出しない
・避難場所についてのみ
・最新の情報を得ること。家の近くの川の上流の様子を知ること。
・インターネットで情報を集める。雨雲レーダーは常に確認している。
・こまめにニュースをチェックすること。
・警報等発表された時に、外で「金沢市よりお知らせします」と流れ、詳しい情報を知りたいのに、毎回何を放送しているのか全く聞きとれない。意識的に行動していることがあるとすれば、テレビの音を消し、金沢市からの放送を何とか聞こえる場所がないか探すくらいしかない。
・外出しないようにする
・広報車による注意喚起の放送は効果的であるが、風雨の音でほとんど聞き取れない。TV局との連携でテロップのインサート等を考えて欲しい。
・ニュースをこまめに見る。なんともないようにと、手を合わせる。
・家の横の川の水位を見に行っている。
・警戒水位のテレビ等の広報を見る。
・小まめな予報のチェック
・外回りを片付ける。
・防災放送を聞取ろうとしていますが、反響（エコー）がかかっているため聞きづらいので、改善をお願いしたいです。
・貴重品の場所を家族全員が知っている。
・まず、崖崩れを注意し、班の中の一人住まい家庭に気を配るようにしている。
・緊急時アラーム情報を常時キャッチしてしていますがもっときめ細かい情報があればタイムリーな行動に繋がると思います。
・テレビを見て情報収集する。ネットを見る。
・犀川が近くにあるので堤防の上から近寄らない程度に確認する。
・浸水地域に近づかない食糧の備蓄確認水を貯めておく。
・特になのですが、外は一応見ます。金沢市の放送？みたいなのが聞き取りづらいです。
・よく聞いて焦らずに行動する。
・情報収集や早めの食事・入浴等。
・停電、雷対策
・情報の収集、非常持ち出し袋の点検、準備川の近くを通らない。

・子供たちの安全確認
・テレビやネットニュースを見ている。
・見ます！
・非常持ち出しの確認
・テレビをつけて情報を得る。
・特にないが、長靴は自家用車に常備している。
・ニュースに注目して行動する。
・インターネットで防災拠点及びその上流地点の映像と雨量、警戒指標などをチェック。地区の防災放送が遠くて聞こえないので雨戸を開けて聞くがそれでも聞こえない。
・家の周りの見回り
・大雨の前にベランダの排水溝の掃除をします。大雨警報でも休校にはならないので、登下校時に用水はのぞかない、帽子などが飛んでも無理に拾わないように子供に指導しています。
・自宅2階へ移動する
・二階に寝る近くの川の水位を確認する
・トンネル内が低いところは避けるようにしています。
・情報の収集を心がけている
・私が住む土清水は高台だが、浅野川の氾濫のときは、「ゴーッ」という音が家にまで響いて、金沢は小さいまちだ、あぶない、と痛感した。それ以来、大雨の時は近くを流れる河川の水位を見る。ぼうさいドットコムの情報を見る。
・緊急事態の放送やテレビやネットを注意して聞いている。
・どこで発生しているのか、避難すべきなのか、を意識している
・一時間あたりの降水量、川の水位
・テレビをつける。スマホを充電しておく。
・非難する場所や経路を思い浮かべるようにしている
・サイレンなどは耳が遠い高齢者には難しいので、雨が大量に降ったらなるべく電話などして警戒心をあおってます。
・それ以前の問題として、我が家は何も準備していないことを実感。（水とか食料とか用意しなきゃね、とは言ってますが）情報はチェックするようにしています。
・自宅が犀川の近くなので警報が発表されたら外出は控えて自宅になるべくいるようにしています。
・情報を正確に見極める
・川や田畑の様子を見に行かない。
・常にテレビニュースを見る
・地面に近い物を高いところに置きなおす。
・スマホバッテリーの準備。寝るときに外に出られる程度の部屋着のまま寝る。
・外出を控えること
・玄関回りにある物を家の中に入れてはします。
・河川の水位の把握、雨量観測情報メールでの情報把握
・情報を得るために、テレビやネットを気をつけてみる。持ち出し用の荷物を確認しておく。
・Yahooの警報に注意している

・自宅から、川を見る。河川カメラ・河川水位情報を見る。雨雲ズームレーダーで先の雨量を頭に描く。
・むやみやたらに川など見に行かない。
・うちは、高台にあるので河川の氾濫は安心ですが、土砂災害が心配なのでニュースや気象情報は必ず確認しています。そんな時はすぐに避難できるように、避難グッズを近くに置いておきます。
・ネットで情報を得るようにしている
・近くに犀川が流れているがちかずかないようにしている。
・激しい災害中で移動可能かどうか
・テレビやネットで情報提供収集する。
・NHKをまず！つける！、ラジオが情報が早くて信頼できます。今回のアンケートをきっかけに配布以来、ハザードマップを出してきて家族といっしょにみることができました
・近隣の河川の増水状況を知ること。
・務めてテレビを視聴している。携帯電話のハザードメールの受信
・窓を開けて、放送を聞き逃さないようにしている。
・家が高台（泉が丘）ですが、駐車場が地下なので、車の移動を考えています。
・気象情報に関心を持つようにしている。町内の防災放送を注意してきいている。インターネットでの情報提供もあり、いいと思います。防災士であるが、住民の意識とアナログの人との差を痛感し、行動に差がでている。
・情報収集、こどもがいるので、子供を連れての避難方法など
・情報収集、避難準備
・河川の水位上昇
・スマホの警報情報などをチェックしている。
・①駐車場の確保（立体駐車場への車両移動）について②避難施設場所及び収容人数等の施設内環境の把握について
・基本、自宅から外出しないこと。仕事の場合は情報を確認して慎重に行動する。情報収集の徹底（気象サイトや付近のSNS利用者を参考）。
・町内アナウンスを注意深く聞いています。
・ネットで情報を得るように携帯を小まめにチェックしている。
・テレビ等を通じた細かい情報収集
・テレビの予報をつけておくくらいしかしていない
・家の周りに物を置かない。花壇にあるポットやスコップなど飛ばされそうなものは自宅に入れておく。
・特に今はなにもしていない。すぐに逃げられるように貴重品や非常用の準備をしなければいけないと思いつつもまだ実行できていない。
・頻繁にかくにんしたり、かぞくと連絡を取り合うなどしています。
・早めに情報を入手できるようにしている
・地域の避難所の開設確認
・現住所が崖に近いのでそばの川の水の色が土の色に濁ってきていないか。
・ネットやテレビで情報収集
・外の様子に良く注意する。
・サービス付高齢者向け住宅に入居しているので特にはないです。

・以前、浅野川が氾濫した時は比較的近くに住んでいたため暫くは防災グッズを購入して用心していたが、引越した後は、全く関心が無くなっていた。近くに中学校があるので、地震や水害の時は学校に行けばいいのかなと勝手に思っている。
・市のサイトとテレビを見て判断しようと意識している
・情報収集を途切れないようにして、万が一に気持ちを備えている。
・スマホで土砂災害の状況をチェックする。
・家の外の流されそうなものを片付ける。
・浅野川の氾濫の時に浸水した地域です。警報時には河川の増水には気をつけています。なので、ハザードマップ、知らなかったことに気づいてアンケートに参加して良かったと思いました。
・川の近くには近寄らない。町内の用水の水の量を注視する。不要不急の外出は避ける。
・予報。発表を確認するようにしています。
・最新情報の入手
・犀川が近いので川の水位を気にしたり、側溝のゴミたまりで水が止水されないかなど家の周りからみたりする
・下に置いてある物を上にあげたり、非常用荷物をまとめたり、テレビをを見て情報を集めたりしながら、いざと言うときに動けるように、なんとなく動き回っています。
・近くに川があるので、水位は確認してます
・町内の防災放送を聴き耳を当てて聞いているが 音声を取りにくくわかりにくい。また 最近は各家庭も含め気密性の高いサッシュュやガラスなどで聞き取りにくいので音量も大きくしてほしい。
・ニュース等で情報を得る
・川の近くなど、危ない所には近づかないようにしています。
・TVなどの情報収集。
・天気予報に注意し、極力外出しないようにしている。
・家のまわりが冠水してないか確認しています。
・うちは団地の3階なのでなるべく動かない様にしている。
・テレビで状況をみて不安に思うだけで、なにもしていないのが現実です。
・近くの川を見に行く
・外出しない
・外に置いてあるものを中に入れる
・警報をこまめにチェックしては何に備えている。
・テレビやインターネットを利用して大雨・洪水の情報を知る。自宅周辺の状況をこまめに確認する。
・一人住まいの高齢者には日常から話しはしている。
・常に、最新の情報を確認している。
・いつでも出発できるように、警報が出た時は準備をしておく
・テレビやラジオで確認する
・防災無線が聞こえるよう窓側を開けています。防災アプリ等で情報収集しています

アンケートにご協力いただきありがとうございました。